

合併処理浄化槽で海や川の水質保全を

私たちが1人で1日に使用し排出する水には、約40グラムの汚濁物質が含まれているとされています。40グラムの内訳は、水洗トイレで13グラム、台所・風呂・洗濯などの生活雑排水が27グラムです。生活雑排水の中でも台所排水は18グラムと、便所汚水よりも汚れています。

台所でお椀1杯のみそ汁を流すと、魚が住める水質に戻すためには、浴槽3.5杯分の水が、煮汁500ミリリットルを流すと、浴槽26杯分もの水が必要です。(※浴槽1杯分300リットル)
河川や海などの水質保全には、生活排水の適切な処理が大切ですが、その切り札として期待されているのが合併

処理浄化槽です。平戸市では、新たな合併処理浄化槽の設置や、「汲み取り」や「単独浄化槽」から合併処理浄化槽への転換に対し、補助金を交付しています。



▲詳細は
コチラ

浄化槽は維持管理が大切

浄化槽は、微生物の働きを利用して汚水を処理する装置です。微生物が活動しやすい環境を保つように維持を行うことで性能を発揮します。

浄化槽の維持管理は、保守点検、清掃、法定検査に分かれますが、浄化槽法でそれぞれ定期的に実施することが義務付けられています。

市民課生活環境班 ☎22-9121

一地域でいきいき一 通いの場 VOL.79

平戸市では、週に1回以上集まり、「平戸よかよか体操」や趣味活動を行う住民主体の通いの場が90か所あります。このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介します。

☎ 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133

「笑って会って、笑って帰って」

令和4年9月に、7名で活動を始めた「吹上“みじよか”サロン」。代表である佐藤さんのご自宅に集まり、会話を楽しみながら体操に取り組んでいます。



吹上“みじよか”サロン

Interview

代表 佐藤 千代子さん



高齢者は、元気に見えても運動機能が低下しています。この活動で、みんなが笑顔に、そして健康になることを願っています。

活動日/毎週金曜日
午前10時～午前11時
活動場所/自宅
開催地区/田代(田平町)

通いの場「吹上“みじよか”サロン」の3つの特徴 (参加者からの声)

気軽に参加できることを大切に

大人数の集まりが苦手な方でも気軽に参加できるよう、自宅に集まって体操しています。3人以上が集まれば、市が備品等を貸し出してくれます。興味がある人はいつでも見学にお越しください。

歩くことも大切に

天気の良い日は、徒歩で集まるように心がけています。日常的に歩くことも健康の秘訣です。

みんなで笑おう

とにかく「笑う」ことを大切にしています。失敗事も笑って吹き飛ばしています。



「通いの場」への参加率が高い高齢者ほど、転倒や認知症、うつリスクが低い傾向にあることがわかっています。まだ参加していない人は、近くの通いの場へ参加してみませんか？

「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です！
また、平戸市ホームページでも動画を公開しています！

平戸へ、皆さんよろしく

平戸の皆さん、こんにちは。バオです。

今回のコラムが、私の最後のコラムです。間もなく、着任してから1年になります。

初めてのコラムで希望したとおり、平戸の皆さんのお陰でさまざまな経験をしました。着任時、平戸の生活に慣れることができるか悩んでいました。最初はどうかと思いましたが、慣れるのには思ったより簡単だということに答えてくれました。平戸の皆さんは自分のことを暖かく歓迎し、安心させてくれました。

しかし、英語に「all good things must come to an end」ということわざがあります。直訳すると、「すべての良いことには必ず終わりあり」



国際交流員
バオデワイン
・ファーレグ
(オランダ出身)

です。このことわざは、今の私にすごく合っています。平戸での生活を楽しみましたが、自分の成長のために、次の一歩を踏み出そうと思っています。

この1年で、日本をもっと理解できるようになりました。その機会をいただいた平戸の皆さんに感謝いたします。なぜなら、平戸の皆さんの暖かさのお陰で、何が起ころうと皆さんの支えがあると信じていることができました。

これから、自分がどのような冒険を経験するか、私も分かりませんが平戸での経験を思い出せば、何が起ころうとも大丈夫だと信じています。本当に、心から感謝します。ありがとうございました。

文化交流課交流推進班 ☎22-9143